

周期律表と第3シリーズに関するレメディ

周期律表とは、人が胎内から死を迎えるまでのレプリカだという理解が入り口です。

周期律表の全体像（サンカラン／「Structure」より抜粋）

※Row=シリーズ（ショルテン）と同じ意味

Row 1	受胎と存在
Row 2	胎児期と誕生過程（一部と分離）
Row 3	自分自身であることと栄養
Row 4	安全と仕事
Row 5	創造性とパフォーマンス
Row 6	責任
Row 7	解放（分解 崩壊）

周期律表 Row3（第3シリーズ）について（サンカラン「STRUCTURE」抜粋）

Row3 のテーマ：アイデンティティーと栄養（家庭の中での成長段階に類似）

この段階にいる人は・・・

まるで、親の保護下で「育つ子供」のような感じ。栄養・ケア・愛情を必要とする。

特徴は、アイデンティティーの発達と関係する・・・

知らない人や暗闇が怖い、好き嫌い、選択（自己）、アイデンティティーの問題、恥ずかしがり（対人）、自分の所有物とそうではないもの、外観や評価（自己への）、衝動的。

この Row3 の方に必要とされるレメディはとても多い。多くの人は、人間関係の問題で行き詰まっている。（親子・兄弟・友人・夫婦・同僚との関係性での悩み）

元素（左から順番に・・・）とこれまで学んだレメディとの関係

1. NA Nat-c. (Nat-m.)
2. MG Mag-c.
3. AL Alum.
10. SI Sil. (レメディシリカは SiO₂ なので、酸素の要素も含まれる)
15. P Phos.
16. S Sulph.
17. CL Nat-m.

ホメオパシーで、最も多く使われるレメディは、この Row3 に含まれています。周期律の観点でレメディを見直すと、レメディの理解が深まります。

レメディの復習をしつつ、一つ一つみてゆきましょう。

周期律表：第3シリーズに関係するレメディたち

Nat-c.の特徴は、何でしたか？マテリアメディカをみてみましょう。

「自己存在感が希薄すぎるほど利他的で、且つ夫（特定の人）嫌いなレメディ」です。

サンカランはこうに述べています。

「**Nat-c.**は **Psoric** マヤズムに属する塩である。**Nat.**の要素には、人間関係を築いて維持する事への強い欲求、特に一对一の関係における欲求が顕著にみられる。**Nat-c.**の女性はたったひとつの人間関係を必要とし、このひとつきりの人間関係に依存しており、それがなくなると凄まじい恐怖感、悲しみ、孤立感を感じる。」（サンカラン／*Soul of Remedies* より）

Mag-c.の特徴は？

100年前のホメオパス・ケント博士は、「孤児のレメディ」と名付けました。

サンカランはこうに述べています。

「**Mag-c.**は **Sycotic** レメディである。この塩には **Mag.**属のレメディのエッセンスが表れている。**Mag.**のフィーリングとは、自分が必要とする世話や保護や栄養を得ていないというものである。食べ物や世話や安全や援助を必要として母親に依存しているのに、しかし親に捨てられてしまったという赤ん坊の状態である。孤児のフィーリングである。」（サンカラン／*Soul of Remedies* より）

Alum.の特徴は？ 「ボンヤリ感とアイデンティティーの混乱が特徴的です。

Naや**Mg**より、独自のアイデンティティーを持ち始めているが、自力で、選択行動しても良いのか、あるいは、まだ家族の選択に任せる方が良いのか？という混乱と不確かさの段階にいる。

Sil.の特徴は？ 「自信がなく人前が苦手で、内面と外面が異なる」レメディです。

サンカランはこうに述べています。

「**Sil.**の状態が生まれてくるのは他人に受け入れてもらうために特定のイメージを満足させることを要求されるような場合である。たとえば、ある特定のやり方でなにかを成し遂げるなら、受け容れられ、愛してもらえるのだと言われている子供である。あるいは、女性では他人が自分に作っているイメージを実際に満たそうと試みる。この意味で彼女はそのイメージに従順なのである。しかし、またそれに固執しそのイメージを維持しようと奮闘し頑固になる。」

Phos.の特徴は？ 「**TOO OPEN**」レメディ。交流がキーワード。

「与えられたアイデンティティーから離れた、自分のアイデンティティーを構築する段階。もはや、私は、家族のやり方ではなく、自分のやり方するために外に出て行く。自らが作ったアイデンティティーを認めてくれる人を見つけ、友人として認めてもらう。自分は自分。他者は他者。それぞれがそれぞれに良いことを認めてほしい。」

Sulph.の特徴は？ 楽観的な夢のような考え・偉大な考えが落胆につながりやすい。人からバカにされると激しく怒る。自分は自分と開き直すことで対処する。

「Sulph.の中心的なフィーリングは、嘲笑され、こきおろされ批判されたというものである。それゆえに、エゴと名誉のため、努力し奮闘する。エゴは Sulph.の最も大きなテーマの一つであり、奮闘努力は中心となる活動の一つである。Sulph.の人はある種希望に満ちあふれている。そのため、奮闘努力は、彼にとって高すぎる負担にはならず、楽観的である。」

(サンカラン／SoulofRemedhies より)

「自分のアイデンティティーに誇りがある。私はあなたとは違う。あなたよりも良いことを認めてほしい。」

Nat-m.の特徴は？ 傷つきやすく、防御的で閉じている。自分が傷つけられた過去の納得できない出来事をいつまでも恨んでいる。

Na と Cl の塩。第 3 シリーズの第 1 ステージと第 17 ステージの組み合わせ。

Na=私は母体から分離したが、まだ独自のアイデンティティーは持っていない。私自身の栄養とケアを見つける能力を全く持っていない。彼らは、家族の中で、両親から多くの愛情・ケア・養育をもらう完全依存状態にある。

Cl=私はすでに構築したアイデンティティーをすっかり失ってしまうかも知れない。

それを保持するために、あえて与えられたものとは正反対のこととするしかない。そのために、周りから、反抗的で否定ばかりすると受けとめられて追いやられる。結果的に世間から裏切られ、失望させられたと感じる。

塩としての Nat-m.=NaCl

私が完全依存している特定の人から裏切られ、失望させられる。(それで恨んでいる。)

以上